

700987 絶縁ロジックプローブは、スコープコーダシリーズ用の絶縁入力に対応するロジックプローブです。次の注意事項をお守りください。取扱者の生命や身体に危険が及ぶ恐れがあります。



警告

本プローブを使用する前に、本書の他に、スコープコーダやロジック入力モジュールの取扱説明書をよくお読みください。本プローブを使用する上で必要な注意事項が記載されています。



注意

- 以下の値を超える電圧を加えると、絶縁ロジックプローブ、スコープコーダ、あるいはロジック入力モジュールを損傷する恐れがあります。周波数が 1 kHz を超えるときは、この電圧以下でも損傷することがあります。

最大入力電圧(周波数 1 kHz 以下): 250 Vrms (ただし AC 350 Vpeak 以下、DC 250 V 以下)

- 絶縁ロジックプローブの入力端子間、およびプローブの各入力端子とスコープコーダまたはロジック入力モジュールとは絶縁されています。
- 26 ピンコネクタをロジック入力端子に接続するとき、または取り外すときは、スコープコーダの電源を OFF にしてください。
- 絶縁ロジックプローブは重ね置きして使わないでください。また、プローブ内部の温度上昇を防ぐため、周囲に十分なスペースを取ってください。

ロジック入力端子

プローブケーブルのクランプフィルター (フェライトコア付き、部品番号 A1190MN) が装着されている側の 26 ピンコネクタを、スコープコーダまたはロジック入力モジュール (形名 720230) に 2 つずつ装備されているロジック入力端子のいずれかに接続します。

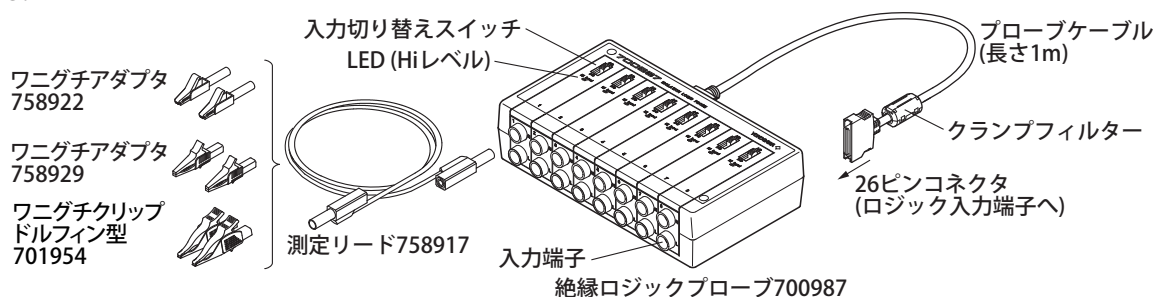
測定リード

測定対象に接続するには、以下の別売の測定リードやアダプタを使用します。プローブや測定リードは改造しないでください。仕様が満足できなくなります。

- 測定リード 758917(定格 1000 Vrms CAT II)
- ワニグチアダプタ 758922(定格 300 Vrms)、758929(1000 Vrms)、あるいはワニグチクリップドルフィン型 701954(1000 Vrms)

絶縁ロジックプローブを接続する

- 絶縁ロジックプローブの入力端子に測定リードを接続します。
- 入力切り替えスイッチを設定します (AC/DC、詳細は以下の仕様を参照)。
- スコープコーダの電源を OFF にします。
- 26 ピンコネクタをロジック入力端子に接続します。
- スコープコーダの電源を ON にします。

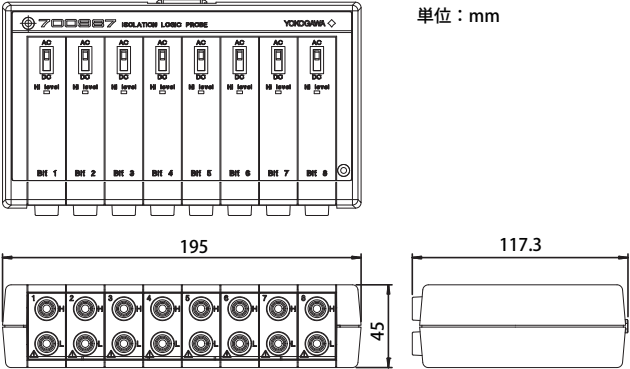


仕様

項目	仕様	
入力点数	8	
入力形式	絶縁 (各ビットすべてが絶縁)	
入力コネクタ	安全端子形 (バナナプラグ用) × 8	
入力切り替え	ビットごとに AC/DC 入力切り替え可能	
入力信号表示	ビットごとに Hi/Lo レベルを検出、Hi のとき LED 点灯	
スレショルドレベル	DC 入力時	6 VDC ± 50 % (Hi レベル：10 ～ 250 VDC、Lo レベル：0 ～ 3 VDC)
	AC 入力時	50 VAC ± 50 % (Hi レベル：80 ～ 250 VAC、Lo レベル：0 ～ 20 VAC) (50/60 Hz)
応答時間	DC 入力時	1 ms (Typical 値)*1
	AC 入力時	20 ms (Typical 値)*1
入力インピーダンス	約 100 k Ω	
最大入力電圧	250 Vrms*2 CAT II (各ビットの H-L 間)	
最大許容同相電圧	250 Vrms*2 CAT II (入力端子 H または L とアース間)	
ビット間最大許容電圧	250 Vrms*2 CAT II	
耐電圧	2000 VAC 1 分間 (入力端子とアース間)	
絶縁抵抗	500 VDC、10 M Ω以上 (入力端子とアース間)	
使用ヒューズ*3	使用場所	入力端子の H 側
	最大定格電圧	250 V
	最大定格電流	50 mA
	タイプ	タイムラグ
	規格	VDE/SEMCO 認定

*1 Typical 値は代表的または平均的な値で、厳密に保証するものではありません。
*2 周波数が 1 kHz 以下のとき、AC 350 Vpeak、DC 250 V
*3 本機器で使用しているヒューズは、すべて本体ケース内にあるので、お客様では交換できません。万が一、ヒューズが切れていると思われるときは、お買い求め先までご連絡ください。

外形図



指示なき寸法公差は±3%(ただし、10mm未満は±0.3mm)とする。